

やまぐち農林振興公社分収造林事業の経営改善計画について

1 公益財団法人やまぐち農林振興公社の概要

代 表 者 名	： 理事長 桑原 恵利
所 在 地	： 山口市葵2丁目5－69
設 立 年 月 日	： 昭和41年5月1日
業 務 内 容 (造 林 会 計)	： 分収造林事業(※)の実施

※ 公社と土地所有者が締結する分収造林契約に基づき、公社が費用負担をして樹木の植栽、保育から伐採まで管理。伐採時に土地所有者とその収益を一定の割合で分け合うもの。

2 経緯

やまぐち農林振興公社が行う分収造林事業については、厳しい経営状況を踏まえ経営改善に向けた計画を策定するとともに、その計画を5年ごとに見直すこととしている。

現計画は平成31年の策定から5年が経過するため、現状を踏まえた収支見込みと経営改善策の見直しを行った。

3 分収林の状況

(令和5年3月末現在)

契約面積	14,216ha
契約件数	2,077件
事業終期	2069年度(平成81年度)
分収割合	[S41～H12]公社6:土地所有者4、[H13～]7:3
主伐時期	2031年(R13)～2069年(R51) (伐採ピーク:2047年(R29))
長期借入金 金の概要	山口県 238億円 日本政策金融公庫 140億円(県による損失補償)

4 経営改善に向けた取組

(1) 長期収支見込み(事業終期：2069(R51)年度)

平成31年以降の状況変化を踏まえた収支の再計算 (単位 億円)

収 入	伐採収入	補助金	借入金等	その他	収入計
	975	373	600	24	1,972
支 出	事業費	分収交付金	償還金等	その他	支出計
	1,000	187	780	8	1,975
収 支	a				▲3億円

〈主な影響要因〉

木材価格：スギ 13,900円(前回増減 +800円)

ヒノキ 20,100円(前回増減 +2,600円)

労務単価：前回計画時から職種別で13.9%～15.2%の上昇

(2) 経営改善策

平成26年及び平成31年の経営改善策に加え、新たに次の対策を実施

【森林Jークレジット事業の推進】	4億円
- 脱炭素社会の構築に寄与するため、森林Jークレジットを活用 - 公社造林地での適正な森林管理により増加するCO2吸収量をクレジット化販売し、新たな収益確保と安定的な事業継続を行う。	
改 善 額 計	b 4億円

(3) 経営改善策を踏まえた収支見込み

(収支試算額 a) ▲3億円 + (経営改善額 b) 4億円 = (収支見込み) 1億円

※ 事業終了時の残余財産は、全額を県に贈与する。

〈平成26年の経営改善計画〉

公社が行う改善策	県による支援策
・ 施業内容の見直し ・ 分収割合の変更(6:4→7:3) ・ 業務見直し(施業管理)	・ 収益の見込まれない分収林の県管理への移行及び貸付金の償還補助 ・ 県貸付金の利息免除

〈平成31年の経営改善計画〉

公社が行う改善策	県による支援策
・ 事業の低コスト化の推進 ・ 未利用材のバイオマス発電への活用 ・ 補助事業の有効活用	

〈法人の財務状況（造林会計）〉

	項目	金額（千円）		
		2 年度	3 年度	4 年度
貸借対照表から	資産総額	50,323,934	50,501,608	50,592,912
	（うち現預金）	(248,369)	(188,335)	(169,883)
	（うち未収金等）	(6,475)	(97,784)	(140,735)
	（うち森林資産）	(50,038,128)	(50,184,806)	(50,249,145)
	負債総額	38,936,057	39,113,801	39,280,726
	（うち本県からの借入金）	(23,403,835)	(23,508,169)	(23,752,092)
	純資産額	11,387,877	11,387,807	11,312,186

	項目	金額（千円）		
		2 年度	3 年度	4 年度
損益計算書から	経常収益	280,793	296,352	329,184
	経常費用	450,946	443,544	550,107
	森林資産勘定振替額	170,153	147,192	145,172
	経常増減額	0	0	▲75,751
	経常外増減額	▲3,447	59,416	0
	一般正味財産増減額	▲3,447	59,416	▲75,751

日本政策金融公庫（県の損失補償あり）及び県からの貸付金については、伐採収益による返済が可能になり次第、繰上償還等を行い、県財政の健全化に努める。